

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	星野 悦子	所属	上野学園大学・音楽学部
研究会等名称	音楽心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 20 名（うち認定心理士 1名） 非会員 2 名（うち認定心理士 0名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>1. 音楽心理学研究会では定例会を 2～3 か月に 1 度程度の割合で行なった。今年度はコロナ禍が続いている影響で、対面ではなくすべてリモート開催となった。例会の内容は、音楽心理学関連の海外文献を講読・議論することである。なお、研究集会をオンラインで実施した。</p> <p>例会日程は以下の通りであり、最後に研究集会を実施した（下記 2 を参照）。 2022 年 4 月 24 日 第 92 回例会（リモート開催） 2022 年 7 月 17 日 第 93 回例会（リモート開催） 2022 年 9 月 25 日 第 94 回例会（リモート開催） 2022 年 12 月 4 日 第 95 回例会（リモート開催） 2023 年 2 月 12 日 第 5 回研究集会（リモート開催）</p> <p>2. 集会等の目的・成果等 研究集会は、2023 年 2 月 12 日(日曜)の 13:00 から 16:00 にオンライン発表形式で開催した。内容は以下のとおりである。 テーマ：「演奏心理学の現在」 内容：趣旨説明 1 件（代表、星野悦子）、話題提供は以下の 4 件： 生田悠（立命館大学）、河瀬諭（神戸学院大学）、大澤智恵（武庫川女子大学）、吉野巖（北海道教育大学）。指定討論者として小川容子（岡山大学）。 リモートでの視聴参加者は 40 名であった。 これらの発表の資料集（予稿集を兼ねる）として、「音楽心理学研究会論文集第 15 巻」を印刷製本した。直接的に参加者に配布できないので、視聴者のうち送付希望者、本研究会のメンバー、およびこれまでの研究集会やシンポジウムに参加された心理学会員や関連領域の研究者など、約 30 名に対して、今年度研究集会の内容発信を目的に郵送した。 次年度には、日本心理学会第 87 回大会でのシンポジウムとして研究集会を企画している。</p>		

(様式5)

2023年 4月 30日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 音楽心理学研究会

研究会番号 _____

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2023年3月30日	資料印刷費 (研究集会予稿集資料)	¥39,600

支出合計 ¥39,600